

Vol.89

2012年 1月号

やらばあ

ふみだそう、福祉でまちづくり

苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、 強く、正しく、たくましく、助け合って生きていく

金田和尙

みなさんに伝えたい
人生のみちしるべ

もうすぐ、弥生3月。日本中が忘れられない日となった「三・一一」から一年が経とうとしています。

昨年の三月二十二日、気仙沼市立階上（ハシガミ）中学校の卒業式で全国に感動を与えた卒業生代表・梶原裕太君の答辞を紹介します。

《本日は、未曾有の大震災の傷も癒えない中、私たちの卒業式を挙行していただきありがとうございます。ちょうど十日前の三月十二日。春を思わせる暖かな日でした。

私たちは、そのキラキラ光る日差しの中を、希望に胸膨らませ、通いなれたこの学舎を五十七名揃って巣立つはずでした。前日の十一日、ひと足早く渡された思い出のたくさん詰まったアルバムを開き、十数時間後の卒業式に思いを馳せた友もいたことでしょう。

「東日本大震災」と名付けられる天変地異が起こることも知らずに、階上中学校といえば、「防災教育」と言われ、内外から高く評価され、十分訓練もしていた私たちでした。しかし、自然の猛威の前には、

人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。つらくて、悔しくてたまりません。時計の針は、十四時四十六分を指したままです。でも時は確実に流れていきます。生かされた者として、顔を上げ、常に思いやりの心を持ち、強く、正しく、たくましく生きていかなければなりません。

命の重さを知るには、大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きることが、これからの私たちの使命です。私たちは今、それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても、何をしたいようとも、この地で仲間と共有した時を忘れず、宝物にしていきます。

後輩の皆さん。階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達、いかに貴重なものなのかを考え、いとおしんで過ごしてください。先生方、親身のご指導ありがとうございます。先生方がいかに私たちを思ってくださっていたか、今になってよく分かります。地域の皆さん、これまで様々なご支援をいただき、ありがとうございます。これからますますお願いいたします。お父さん、お母さん、家族の皆さん、これから私たちが歩んでいく姿を見守



あたたかな太陽の光のような穏やかな年になりますように。

っていてください。必ず、よき社会人となります。私は、この階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思っています。

最後に、本当に、本当にありがとうございました。》

～H22年度文部科学白書より～

子どもさんがいらつしやるご家族の皆さん、是非、読み聞かせてください。子どもさんにとって「人生のみちしるべ」となることでしょう。

社協 新春特別企画！ お年玉クイズ

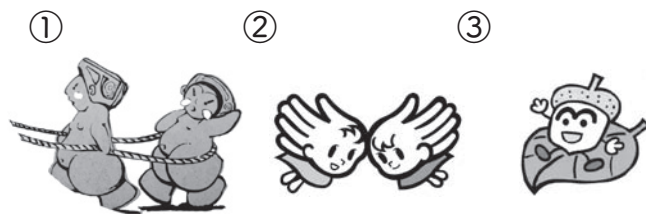


社協に関するクイズは全部で5問。あなたは何問わかるかな？答えを①～③の中から選んでネ。

Q1 しゃきょう 社協ってなーに？

- ①市役所の中の部署のひとつ
- ②ボランティア団体
- ③社会福祉法人

Q2 社協のイメージキャラクターはどれ？

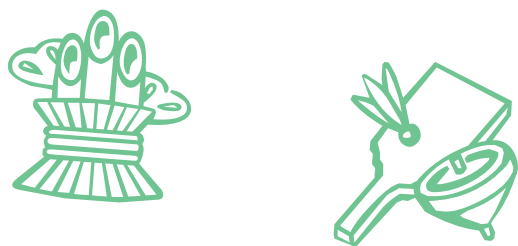


Q3 誰もが安心して暮らせるまちを目指して市内10地区でまとめられた計画は？

- ①地域福祉行動計画
- ②茅野市しあわせ計画
- ③社協発展強化計画

Q5 東日本大震災で茅野市と社協に寄せられた義援金の総額は？(10月末現在)

- ①約90万円
- ②約900万円
- ③約9,000万円



Q4 東日本大震災で社協の募集により、宮城県石巻市へボランティアとして行かれた方の延べ人数は？(4月、5月、7月、9月、11月に活動)

- ①30人
- ②76人
- ③100人

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号と社協へのご意見、ご要望、やらざあのご感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送り下さい。正解者の中から抽選で今月はお年玉として、5名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り

2月10日

前回のクイズの答え

・花も実もある ・身もふたもない

当選者

伊藤きみ子さん(宮川) 平島寿恵子さん(玉川)
矢崎 和彦さん(湖東)

当選された方には図書カードをお送りいたします。
たくさんのご応募ありがとうございました。



第48回茅野市社会福祉大会報告

「ご近所の底力」からつくる地域の絆

昨年12月3日、『「ご近所の底力」からつくる地域の絆』をテーマに、第48回茅野市社会福祉大会が開催されました。当日は雪まじりの雨が降る中、約300人の参加がありました。

まず1部の式典では、社会福祉貢献者とボランティア団体への表彰式があり、2部では、春から秋にかけて多くの方が取り組まれた「緑のカーテンコンテスト」入賞者への表彰式が行われました。そして、3部では、「ご近所の底力(NHK番組)」で司会を勤められた堀尾正明さんを講師に、日本各地の事例をまじえた講演会が行われました。

地域活性化の決め手はこれだ！ 「ご近所の底力・取材活動から」

堀尾正明さんの講演より



〈50・60・70代が地域を活性化させる〉

今、世界では、爆発的な人口増加が問題になっています。しかし、日本は、世界の中でも突出して人口が減り続けています。また、一方で高齢化率はどんどん上がり歪んだ人口構成になって来ています。地域の活性化は、そんな人口の減少の点から言っても必要不可欠なものです。

人口が減れば労働人口も減り税収も少なくなるわけですから、今まで行政に頼っていたこと(行政サービス)が、できなくなる可能性が出てきます。この会場も60代が中心のようですが、この世代は、地域活性化の一番のポイントであるコミュニケーションの手段をデジタル(携帯・パソコン等の情報交換等)とアナログ(顔を合わせた会話等)の両方を持ち合わせているので、いろいろな情報を得ることができます。

〈地域がまちを育てる〉

行政支援が、今後ますますマンパワーも財政面でも少なくなっていく中で、「地域は地域でまとめ、自分たちのことは自分たちで解決の道を探っていく。そこに行政を巻き込んでいく。」という形の活動が日本各地で見られます。

相手をおもんばかった古きよき国民性というのは、時に「しがらみ」として煩わしいものと思われることがありますが、防災防犯には大切なポイントでもあります。空き巣被害の問題を解決するために、いくつかの壁に当たりながらも「あいさつ運動」を続け、その後、防犯以外の事にも地域の中のコミュニケーションが広がることにより、活動の輪が広がっていった例もあります。

東日本の震災でも、一般的な避難訓練よりも日頃のコミュニケーションがあったことによりいくつもの命を救ったそうです。何も新しいものを作り出さなくても、よく見ると地域の中には資源がたくさんあります。

「このまちをこういうふうにしたい」という志、強いリーダーシップがあれば、必ず地域は変わります。

講演会では、DVDで実際の活動をいくつか紹介していただきましたが、共通して言えることは、「普段からの地域内のコミュニケーションの大切さ」でした。

茅野市でも各地区で、あいさつ運動が取り組まれています。「あいさつ」もコミュニケーションのひとつです。

人と人とが繋がることで、そこに住む人の絆も強まり、更に「地域の絆」も深まり広がっていくのではないのでしょうか。

ご寄付ありがとうございました

(平成22年12月1日から平成23年11月30日まで)

矢崎 博康	100,000	北澤 博和	100,000	田中ヒデ子	100,000
山岸 文典	100,000	高橋れい子	100,000	平松 禮子	10,000
北原 國男	100,000	濱 和幸	200,000	田村美千穂	100,000
牛山 圭吾	100,000	小川 秀雄	200,000	小林 深志	100,000
平岡 正人	1,000,000	矢島 安久	100,000	中村 昭	100,000
大久保賢一	100,000	守屋 智明	100,000	伊藤 春樹	100,000
五味 眞城	100,000	竹村 雅臣	200,000		

諏訪友の会 代表 平河 祥代	5,000
明るい社会づくり運動茅野市協議会 会長 藤木 健一	50,253
学校法人聖リゴリオ学園 茅野聖母幼稚園 園長 ジャン レイモンド ジラール	18,620
茅野ライオンズクラブ 会長 小林 好治	71,500
茅野レオクラブ会長 鈴木 里枝	11,141
(社)ガールスカウト日本連盟長野県支部 長野県第二団 団委員長 湯田坂 玲子	22,000
(株)東急リゾートサービス 統括総支配人 臼井 秀明	14,386
SUWAオプトロニクス労働組合 執行委員長 矢澤 正之	29,807
茅野ライオンズクラブ 諏訪大社ロータリークラブ 茅野ロータリークラブ	244,630
(社)埴原田醇厚社 副理事長 伊藤 正利	20,000
ヘアメイクハウスみはる 代表 金井 二郎	99,000
諏訪たばこ販売協同組合 茅野地区組合 代表理事 柳平 春光	タオル・石鯨・手ぬぐい等
株式会社 マルモ機械 代表取締役 丸茂 明	ガスパワー発電機 104,790 円相当

(順不同・敬称略・単位：円)

皆様から頂いたご寄付で、社協運営事業、広報紙の発行、ボランティアグループの支援を行っています。



茅野市社会福祉協議会

石巻災害ボランティア活動

厳しい寒さに耐え忍び

美しく咲く福寿草のように

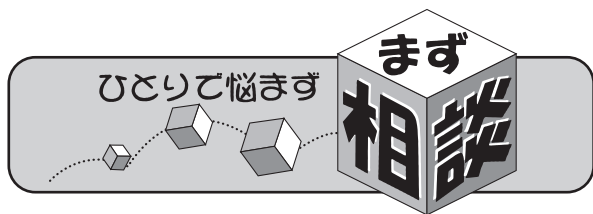
雄勝町の立浜漁港では

ホタテ養殖の花が咲き始めていた

昨年の十一月二十一日～二十三日にかけ社協の災害ボランティア活動に参加。現地に向かう北上川護岸道路を走る車窓から、被災地の荒涼とした姿に無言で見入るのみでした。新北上川大橋より低い場所にある大川小学校に寄り、児童教職員の慰霊碑に花を捧げて、全員で香を手向けさせていただきました。

雄勝町の立浜漁港では、瓦礫撤去の作業。休息の時、漁港の方より「ホタテの養殖も始まり、来年には出荷できます」とのお話に、過酷な生活を余儀なくさせられている中に、復興への希望の花が咲き始めているようでした。





人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

(カウンセラー、精神保健福祉士が対応)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口

毎月第1・3土曜日

午後1時～午後4時

第2・4金曜日

午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士 予約電話／73-4431

あなたと家族の悩み相談 ～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方
ご相談ください

毎月第1・3月曜日 午後2時～午後4時

相談員：ボランティア

直通電話／82-0400

福祉やボランティアについての相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

電話／73-4431 FAX／73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室
または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 **やらざあ** Vol.89
2012年 1月号

2012年1月1日

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらざあ編集委員会

〒391-0002 茅野市塚原2-5-45

TEL (0266) 73-4431

FAX (0266) 73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: support@sharara.or.jp

読者の声

・いつも金田和尚のつぶやき読ませて頂いています。
(90代 男性 玉川)

・テレビを見ていたら、「伸びる子は、タイミングを見てほめる」と…。
子どもは、毎日、学校、保育園で頑張っているのに、帰宅すると仕事の疲れもあり、怒り声で接している自分に反省です。
(30代 女性 玉川)

・97歳の母が、3・11の地震のときに泊まりに来ていました。また、11月14日に泊まりに来るとのことです。同じことを何回も繰り返しますが、しっかりしています。
(60代 女性 宮川)

・私は、3級身障者ですが、市内の温泉に無料で入れてもらえるなど、様々なサービスを受けさせて頂いており、ありがたいです。
(70代 男性 湖東)

・やらざあと勢いよく立ち上がり、どっこいしょと腰を延しお菜洗い済ませましたよ。今年は、暖かい日が多く漬物もずいぶん遅らせました。そしたら今、寒くていやになりそう。でも頑張りますよ。後何年頑張れるかな。でも…やらざあ。
(60代 女性 玉川)

・やらざあの名前の由来はどこからきたのですか？
(20代 女性 中大塩)

編) やらざあの名前の由来について

諏訪地方には、行きましようという時に、「いかざあ」、やりましようという時に、「やらざあ」という言い方があります。

そこで、皆と一緒に福祉のことを考え、取り組んでいきたいと思います。気持ちを込めて、「やらざあ」と決められました。

募集

やらざあ編集委員募集！

やらざあでは、一緒に紙面を作ってくださる方を募集しています。市民の目線で、社協の仕事や情報を、よりわかりやすくお伝えすることを目指しています。社協のこと、福祉のことを知る機会にもなります。

どなたでも、興味のある方はお問い合わせ下さい。

性別・年齢は問いません。

1、3、5、7、9、11月の隔月発行のため、編集会議は、2ヶ月の間に2～3回行います。

お問い合わせ
総務・企画係 73-4431



社協情報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの会費が使われています。